

## 第1回那須塩原市上下水道事業審議会（下水道事業） 議事録（要旨）

- 日時：令和7年10月3日（金） 午後1時～午後2時30分
- 会場：那須塩原市役所 本庁舎 201・202会議室
- 出席者：委員 9名  
事務局：15名

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事

### (1)那須塩原市下水道事業の概要

事務局より資料に基づき説明事務局

A委員：11ページの汚泥の有効活用について、具体的な取り組み内容について伺う。

事務局：栃木県の資源化工場でセメント化などの別の資源として活用している。肥料化の動きもあるようだが、現在はセメント化して使用している状況である。

### (2)下水道事業会計の仕組み

事務局より資料に基づき説明

B委員：使用料単価が汚水処理原価を下回るとの説明（21ページ）について、使用料の段階的引き上げ終了後も、原価が上回るというシミュレーションの理解でよろしいか。また、激変緩和措置により補助を受けていたと認識しているが、正規料金を全額得た場合のシミュレーションを教えていただきたい。

事務局：激変緩和措置は令和6年度で終了し、正規料金を1年間通すのは令和7年度となる。現行体系での収入結果は、今年度の決算を待つことになる。

会 長：（事務局へ）見通しとしてはどうか。

事務局：差は縮まると思うが、汚水処理原価を上回ることはないと思う。

C委員：6ページの下水道事業の計画（令和32年度まで）は長期計画という認識でよいか。中期計画はあるのか。

事務局：段階的に目標を立てており、最も分かりやすい長期目標で説明を行った。短期計画は令和8年度までの整備目標として「生活排水処理人口普及率82.4%」となっている。令和17年度までが中期の整備目標となっており、普及率が88.3%となる。下水の整備率の目標もあり短期が94.5%、中期が96.2%、普及率も整備率も両方とも令和32年度が100%となる。生活排水処理人口の率が100%になった時も、汚水処理施設の構成比率としては、下水道で整備するものと、それ以外の個別処理で整備するものがあることにも触れている。

C委員：20ページの年間有収水量（778万m<sup>3</sup>）が、水道事業の資料（1,224万m<sup>3</sup>）とデータが違うのはどういう関係なのか。

事務局：水道事業の有収水量は上水（浄水場から送り出した水量）で料金収入に繋がった水量であり、下水の778万m<sup>3</sup>は、下水道に接続している水道使用者が排除した汚水の量である。水道使用者全てが接続しているわけではないため、水量に違いが出る。

会 長：接続率に関する具体的な資料はあるか。

事務局：配布資料（那須塩原市の水道・下水道33ページ）によると、行政人口に対する普及率は59.7%。下水道使用可能人口のうち、水洗化済（接続率）は92.5%となって

いる。

A委員：22ページの市町の使用料比較について、水道料金は山が多く、人が少ないところは高いというイメージだが、こちらの表は想定とは違う。先ほどの一般財源からの繰入が多い少ないということか。

事務局：傾向は断定できないが、汚水処理の方法や状況、処理区の取り方などの影響が考えられる。水道事業のように明確な傾向を示すのは難しいと思う。

A委員：現在工事中の地域は使用料が高くなるなどの傾向があるのではと思った。

会 長：汚水処理原価がどう違うのか、不足する部分に対しての一般会計からの繰入有無について調べられるか。

事務局：基準外繰入金の状況であれば調べられると思う。

会 長：可能な範囲でお願いしたい。

D委員：下水本管が通っても、負担金（受益者負担金）が非常に高額である。近隣13軒のうち接続したのは7～8軒に留まる。接続率92.5%はすごいが、アパートなどもあり、接続にはお金がかかる。

会 長：受益者負担金と、実際の接続・水洗化状況について説明いただきたい。

事務局：下水道事業は、全ての市民が平等に恩恵を受けるわけではないため、「受益者負担」の原則がある。処理場等の建設経費の一部を、1軒あたりではなく面積割で負担いただく制度である。水洗化率92%に満足せず100%を目指している。汲み取り便槽利用者は3年以内の接続義務があるが、浄化槽利用者は法律上「速やかに」であり、浄化槽の維持費が高くなるなどの状況で接続を検討してもらう形である。92%は決して高くないという認識である。

会 長：下水道は非常に特殊で、水道は給水契約を行うかは任意だが、下水道の場合は使用強制といい、使わなくてはならないという義務が課せられる。100%を目指さざるを得ないということだと思う。

E委員：下水道ができた際、那須疏水の使用料が安い放流している話があったが、地域振興としてやむなく放流の許可をしているので、下水道ができた際には接続していただきたい。

事務局：水洗化促進の活動を毎年行っており、接続率・水洗化率の向上に努めていきたい。

### (3)今後の主な事業計画（投資計画）

事務局より資料に基づき説明

会 長：経営戦略の見直しの、一つのポイントとなるし尿受入れ事業について説明していただきたい。

事務局：現在、那須地区広域行政事務組合が第2衛生センターで行っているし尿受入れ・処理を黒磯水処理センターで行うべく動いており、令和15年に受入れ開始を予定している。第2衛生センターが至急の対応を要するため、協議の結果、那須塩原市の黒磯水処理センターでし尿処理分を賄うことが最良とされた。受入施設完成後、黒磯水処理センターの汚泥処理機能を使ってし尿と一緒に処理する。し尿処理費用は広域の自治体が負担するため下水道事業の負担に直接影響はないが、受入れ準備のため、予定していた施設改修等の前倒しが必要となった。これが経営戦略改定の理由である。

E委員：5の浸水対策について、事業費35億円ほどということで、26ページに投資計画があるが、雨が降ると、今の地球規模での環境変動に伴い、想像を絶するような雨が降ることがあり、その多くが農業用水路に頼っている。農業用水路の断面を使い、地域の水を排出することで、被害を相当食い止めているが、昨今間に合わないということがあ

り、所々で浸水被害を起こしている。この計画35億で十分なのか、重点地区がどこなのかについて、今わかる範囲で教えていただきたい。

事務局：近年の降雨の強まりを受け、国通知を踏まえ、気候変動を考慮した「雨水管理総合計画」を策定中である。具体的な重点地区として、西那須野の西三島地区（百村第1排水区）と、蕪中川排水区（石林の調整池周辺）を盛り込む予定である。

E委員：今出た、西三島地区と、蕪中川は承知しているが、その他にも西那須野一区町、三区町あたりから下流にかけて、一部農業用水路が走っているが、都市化が進行し、農業用水路があふれて浸水した地区もある。鍋掛地区にもある。整備の必要性をもう一度見直していただきたい。

会 長：雨水事業計画の状況と今後の方向性を資料として作成することは可能か。

事務局：下水道事業の雨水整備は、主に都市施設として用途地域内の整備を計画している。用途地域外については、道路部門・建設部門と連携をとり、雨水管理総合計画の中で考えていきたい。

会 長：事務局は、浸水対策とし尿受入れ事業について、全体状況がわかる資料をご用意いただけるとありがたい。

F委員：し尿受け入れ施設の黒磯水処理センターが私どもの自治会にある。し尿運搬車がどんどん入ってくることを考えると、道路が綺麗になるべきだと考える。し尿処理施設の整備に進入道路の整備も付け加えていただけると嬉しい。

会 長：その点も含めて可能な範囲で資料をお願いしたい。この箇所については、各委員からのご指摘や、あるいはご要望も含めて、事務局は資料の作成をお願いしたい。

#### **(4)財政収支の見通し（現行料金）**

事務局より資料に基づき説明

会 長：本日は全体の見通しの概要説明とし、具体的な内容は次回にご説明いただくということでしょうか。

E委員：今日は状況説明が主とのことだが、人件費や物価高騰が続いている中で、AI化（DX）を求めることはできないのか。できる分野は経済評価を行い、人を雇うより機械化した方が良いか検討したらいかがか。

会 長：DXやAI化といった事業の効率化について、事務局から何かあるか。

事務局：市議会からも同様の質問がある。物価高騰や人材不足がAI化を進める要因と認識している。具体的にAI化が可能かは明言が難しいが、民間技術の進歩に基づき採用可能かを今後検討してまいりたい。上下水道だけでなく、市全体でDXの方向づけがされていることを理解願えればと思う。

会 長：33ページの一般会計からの繰入が増える見込みについて、その見直しスタンスは、基準内繰入と基準外繰入のどちらを対象にするのか。分流式の場合など、どのようなスタンスで見直しを考えていくのか。

事務局：基準内繰入金は総務省通知に基づくため変更せず、基準外の部分をいかに減らしていくかを考えていきたいと思う。

会 長：いわゆる分流式下水道等に要する経費の150円基準というのがあるが、どう考えているのか。厳密に言うとその150円のところの扱いをどうするかによって、基準内と基準外も含めてどういう位置付けと取り扱いをするかというのが出てくるかと思うが、現状は全体として、収入不足分をまとめて繰入で補填しているのか。次回に向けてわかるような資料作りをしていただきたい。

会 長：下水道の一般会計繰入は水道と違い大きなテーマとなる。これに伴い、使用料水準、投資計画、企業債の充当も大きなテーマとなるため、順次議論したい。

4 その他  
事務局より事務連絡

5 閉会